



平成30年度 第9号 12月発行
吹田市立第六中学校
吹田市穂波町16番1号
電話：6386-0812
FAX：6386-4815

<http://www.suita.ed.jp/gak/jhs/05-dairoku/>

学校教育目標

命を大切にし、たくましく生きる心豊かな生徒の育成

○進んで学ぼう

○強い体力をつくろう

○礼儀を守り、責任をもとう

「有志竟成」 (12月21日終業式 校長講和より)



校長 上 西 創 司

冬休みに向けて3つのことを紹介します。一つ目は、12月10日(日、本時間11日)に、ノーベル賞の受賞式があり、京都大学の特別教授の本庶佑(ほんじょ たすく)さんが米国のジェームズ・アリソンさんと『がん細胞と結びついて免疫細胞の働きを抑える分子「PD-1」を発見し、免疫療法薬「オプジーボ」を開発した。』ことが評価され医学生理学賞を共同受賞しました。手術、放射線、抗がん剤に続く「第4の治療法」としてがん治療に革命を起こしました。しかし、ここまでくるとは苦難の37年間があり、「会社を潰しかねませんよ」「免疫療法はこうさんかい」「免疫療法でがんを治療するのは、無理」また「こんなメカニズムで抗がん剤ができるか」と思っている。あなた方を理解できない。」と専門医にあきられられたこともあったそうです。その状況の中、小野薬品工業と出会い「PD-1」の発見から22年の時を経て免疫療法薬「オプジーボ」が発売され、今では、様々ながんの治療薬として使用されています。本庶さんがノーベル博物館に寄贈した色紙には、「有志竟成(ゆうしきょうせい)」と書かれているそうです。その意味は、「志をしっかりとしていれば、いつかは実現できるという意味」で、本庶さんの信条であり、この言葉で困難な時もやってこれたと説明されています。自分の信条を信じて努力されてこられたからこそ、ノーベル賞を受賞されたのだと実感できる話です。二つ目は、六中の身近な地域の方々を紹介します。六中・大阪高校・大阪大学大学院卒業生で本庶さんと同じ京都大学の原子炉実験所、京都大学大学院農学研究科の助教授が、吹田南地区で少年補導員や子ども会役員をされていた木下幹夫(きのしたみきお)さんは、今年4月毎日新聞の全国版でもその活躍が紹介されていました。木下さんは、戦時中に日本兵としてタイとビルマ(現・ミャンマー)を結ぶ泰緬(たいめん)鉄道建設に従事されました。泰緬鉄道の建設は、多くの捕虜や現地の労働者、日本兵の命を奪う過酷なもので、映画「戦場にかける橋」でも取り上げられています。鉄道の技師をされていた木下さんは、ミャンマー側の鉄道工事を担当し、オーストラリアの捕虜やミャンマーの労働者が働かされていました。完成後はミャンマー北部の駅長を務められましたが、1日に数十人亡くなることもあり、道には多くの白骨遺体が横たわっていたそうです。戦後、捕虜の虐待などで多くの日本兵が裁かれましたが、木下さんは、「捕虜と言っても同じ人間。よくやってくれた。」と工事終了後は、握手を交わして別れたそうです。戦後、日本兵や捕虜、現地の労働者の冥福を祈るために40年間27回にわたってミャンマーへの慰霊の旅を続けられました。3年前には、元捕虜の招きでロンドンにも行かれ、「戦争というものは、巻き込まれた人はすべて犠牲者。二度とこのような不幸な戦争を起こしてはいけないと心から思う。」とスピーチされました。六中校区にも素晴らしい方々がおられることを誇りに思ってください。

最後に、明日から17日間の冬休みに入ります。1、2年生もそうですが、特に3年生は自分の進路、これからの人生に関わる大切な休みです。人は、人生の中で一生懸命に頑張らないといけない時期が何度かあります。本庶さんの「有志竟成(ゆうしきょうせい)」の信条のように「志をしっかりとって、自分の希望の進路を実現できるように」有意義な冬休みを過ごしてください。

3学期は、1月8日が始業式です。みんながそろって元気な顔を見せてくれることを、先生方と一緒に楽しみにしています。どうぞ、よい年を迎えてください。

六中 School Life

(交通安全教室)

11月21日(水)第六中学校でスタントマンが交通事故を再現する交通安全教室が行われました。この交通安全教室は「スケアード ストレート」と呼ばれる教育手法で、見ている人が恐怖を実感することにより、事故につながる危険行為を防ぐことが狙いです。交通安全教室は運動場で行われ、自転車が一旦停止を怠ることで自動車と衝突したり、携帯を見たり、音楽を聴きながら自転車を運転し、事故につながる場面が再現されました。2年生の藤本さんによると「交通事故を見るのは初めてで、本当に怖かった。交通ルールを守り、事故に巻き込まれないよう気を付けたいです」と話していました。吹田市によると市内の交通人身事故は年間約1千件発生しており、今年は10月までで753件発生しており、生徒たちは、恐ろしい交通事故の数々を目の当たりにし、交通安全への意識を新たにしていました。



(平成30年度じんけん作品について)

吹田市人権啓発推進のための「じんけん作品展」について、本校から10名の入賞がありましたので、紹介します。

優秀	3年	T・Kさん	「変わりたい 注意をできない 自分から」		
	2年	K・Kさん	「認め合おう お互いの短所 褒め合おう お互いの長所」		
入選	3年	Y・Rさん	2年	M・Aさん	1年 Y・Tさん
佳作	2年	E・Sさん	1年	S・Mさん	O・Tさん T・Rさん

(平成30年度 税の作文について)

吹田市納税協会より、3年生の A・Yさんが
優秀賞を受賞しました。



(中学生の主張大会について)

本校の代表として、2年生の 國料 大稀さんが発表者として、また、2年生の 図師 奈摘さんが手話通訳者として参加します。発表内容は「地下水の有効利用ができる国」です。1月19日(土)13時10分～(國料さんの発表は後半です)、場所は「メイシアター(中ホール)」です。ぜひ、お越しください。

(クラブ報告)

「バドミントン部」	吹田市秋季中体連バドミントン大会	男子シングルス優勝	Fさん
		準優勝	Kさん
「水泳部」	吹田市秋季市長杯バドミントン大会	男子シングルス優勝	Fさん
		3位	Kさん
		女子シングルス	3位 Fさん Aさん
	吹田市新人戦	200m個人メドレー	優勝 Hさん
		400フリーリレー	3位 Hさん、Nさん、Kさん、Sさん
		400メドレーリレー	3位 Hさん、Fさん、Uさん、Sさん